

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：SPACE KID保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：小畑 賢侍	定員（利用人数）：80 名	
所在地：〒212-0053 川崎市幸区下平間259-1		
TEL：044-201-7751	ホームページ：http://www.kid-g.com http://www.kid-g.com/sp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年09月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：一般社団法人KID-G		
職員数	常勤職員：23 名	非常勤職員：4 名
専門職員	（専門職の名称）：名	養護教諭：3名
	保育士：8名	子育て支援員：3名
	小学校教諭：1名	栄養士：2名
	調理師：2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：給食室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：事務室
	居室：3歳児室	設備：沐浴室
	居室：4歳児室	設備：医務室
	居室：5歳児室	設備：多目的スペース
		設備：子ども用トイレ
		設備：大人用トイレ
	設備：更衣室	
	設備：倉庫	

③理念・基本方針

<理念>

KID=Kindly Imagination Dream

夢と優しさに満ちた、想像力豊かな人を育む

<基本方針>

1. 心育・体育・知育、調和のとれた環境の中で「生きる力」を育む
2. 子ども・保護者・保育者・地域、保育にかかわるすべての人とのつながりを大切に考える

<保育目標>

〇よく遊び、よく考える子ども

- 心身ともにたくましく元気な子ども
- 友だちや人を大切にし、思いやりのある子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

<保育姿勢>

1. 第二の家庭と思えるような「心の落ち着ける場所」を目指します。
2. 子どもとのスキンシップを大切にし、ひとりひとり丁寧に関わります。

<園として大切にしていること>

●第二の家庭のような保育園

子どもの心のよりどころとなる保育士であるよう、スキンシップを大切にひとりひとりに関わります。保護者にとってもホッとできる場所になるよう、信頼関係を大切にします。

●はだし保育

室内では「はだし」で過ごし、足の裏の感覚の発達を促し、じょうぶな体を作ります。

●絵本の読み聞かせ

0歳児からの絵本の読み聞かせの時間を大切にし、思いやりの気持ちや想像力を育てます。

●子ども主体の保育

子どもが自らやりたいと思う気持ち、興味を持ち挑戦しようとする気持ちを大切にします。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年06月24日（契約日） ～ 2023年01月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【SPACE KID保育園の概要】

●「SPACE KID保育園」（以下、本園という）は、一般社団法人KID-G（以下、法人という）が運営する川崎市認可保育所です。法人は2016年に創立され、現在、横浜市・川崎市を中心に保育園や関連施設を運営しています。法人名（KID）は、「Kindly」「Imagination」「Dream」の頭文字で、法人理念「夢と優しさに満ちた、想像力豊かな人を育む」を表しています。法人は、一人ひとりと丁寧にに関わり、子どもとのスキンシップを大切にし、第二の家庭と思えるような「心の落ち着く場所」を目指しています。

●本園は、開所5年目の新しい園で、JR南武線「鹿島田駅」から徒歩約9分と駅近くの住宅街にあり、保護者の方々にも大変便利な場所にあります。園舎は2階建てで、全保育室が安全を考慮した床暖房完備になっています。感染症予防対策で室内の手に触れる場所（床・壁・天井・机・玩具等）全てを強制的に「まるごと抗菌（抗菌施行）」をした環境の中で、子どもたちが安心して生活できる万全の保育体制となっています。

●0歳～5歳児定員80名で、保育室は各クラスとも専用スペースとなっており、天井も高く、成長の段階に合わせた保育に配慮した環境になっています。3歳児以上のクラスでは、運動を通して社会性・協調性・道徳性を付けるための「スポーツ教室」や、異文化に触れることでグローバルな心を育てる「英語教室」を実施する等、発育・育児環境等バランスの取れたカリキュラムを実施しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【安心・安全の保育環境と働きやすい職場】

全保育室が安全を考慮した床暖房完備になっています。感染症予防対策で室内の手に触れる場所（床・壁・天井・机・玩具等）全てを強制的に「まるごと抗菌（抗菌施行）」をした環境の中で、子どもたちが安心して生活できる万全の保育体制となっています。昼寝コットの使用で睡眠時も衛生的で、シーツ等の衛生管理にも努めています。給食ではアレルギー対応食（麦・乳・卵・ナッツ・そば・エビ・カニの入っている製品を除去）や調味料も同様に対応したものを使用し、安全かつ適切に食事を提供しています。また、職員の都合や事情による働き方への要望・提案は受け止め、シフトはワーク・ライフ・バランスに配慮して作成し、保育士の資格を持つ法人職員によるサポート体制もあります。有給休暇も取得しやすく、家賃補助等、働きやすい環境を構築することで、職員の定着率が高くなっています。

2. 【子どもが主体的に活動するための支援と保育の取組み】

子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備し、自発性を発揮できるよう援助しています。園庭が無いので、身体を動かすことができるよう散歩を重視し、多くの時間を確保しています。散歩コースは5コース程度あり、自然と触れ合う機会が多く、散歩時に地域の方と挨拶することで交流を図り、交通ルールを学ぶ等の経験ができています。週1回、2階ホールでカリキュラムとして体操の時間があり、身体を動かすことを楽しみながら身体機能の基盤作りを行います。年長児は牛乳パックやペットボトル等を使った廃材遊びで、廃材を手に取り制作意欲を高め、環境への興味関心を持ち表現することを楽しんでいます。3歳以上児のクラスでは、運動を通して社会性・協調性・道徳性を付けるための「スポーツ教室」や、異文化に触れることでグローバルな心を育てる「英語教室」を実施する等、発育・育児環境等バランスの取れたカリキュラムを実施しています。

3. 【中・長期計画の作成とマニュアルの整備】

理念や基本方針の実現に向けた目標を明確にしていますが、中・長期的なビジョン（どのような園を目指すのか）や具体的な方策を決め、実施の状況を具体的に示せるようになっていません。中・長期計画は、今後の組織体制・人材育成等の改善・整備や保育内容等の見直しに必要だと思われます。制度改革等にアンテナを張り、健全な経営を行うためにも、3年先の事業環境を見据えた中・長期計画を策定し、具体的な成果等を設定していくことを期待します。また、開所5年目で在籍年数が浅い職員も多いことから、業務が多様化している中、業務の効率化と職員の習熟度に配慮したOJTも継続していただきたいと思っています。業務の標準化と保育士の育成のため、マニュアルの見直しと作成を実施し、マニュアルを整備することが利用者本位の福祉サービスの提供につながることを期待いたします。

4. 【地域との交流と関係確保】

子どもが地域の人々と交流を持つことは大切な取り組みテーマと考えており、基本方針の中で「地域の保育にかかわるすべての人とのつながりを大切に」と掲げ、子どもが地域活動に参加するように心がけています。以前はハロウィン時に地域の商店街を回ったりしましたが、現在は新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）のため実施していません。今後、子どもの個別的状況に配慮しつつ、自治会等地域の人々との交流の機会を定期的に設ける等の取り組みに期待します。また、把握した福祉ニーズ等に基づいて、園として「できること・やるべきこと」に取組み、玄関前掲示板に、園の「給食だより」「ほけんだより」等を掲示し、地域の子ども支援につなげていますが十分ではありません。

ん。コロナ禍以前は、絵本の貸し出し等、積極的に保育園の存在をアピールし、地域の福祉ニーズに基づく活動に取り組んでいました。今後、園が有する福祉サービスの提供や、専門的な情報を地域に還元する取り組みを行い、地域の子ども育成支援や地域コミュニティの活性化に取り組んで行かれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：SPACE KID保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

5年間の内容を振り返ることで、園の課題がより明確になり、取り組んで行かなければならないことが分かる良い機会となりました。

今回の第三者評価受審で得た気づきを活かし、職員一丸となって、より良い保育園を目指していきたいと思えます。

《評価後取り組んだ事として》

1. 個人面談等の機会が少ないとの意見が保護者様から寄せられていたので、年度内に個人面談を行う機会を設けました。
2. 保育指針や理念を知る機会が少なかったため、年度初めに再度伝えて行くと共に、職員にも定期的に会議等で振り返る機会を作りました。
3. 中・長期計画の策定がされていなかったため、園単体ではなく企業全体で長期計画の作成をし、それに向けての取り組みを実施するようにしました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり